

# 第46回応用言語学講座公開講演会

後援：名古屋大学大学院国際言語文化研究科 教育研究プロジェクト経費

「人文学としての言語学・応用言語学若手研究者の発信力強化プロジェクト」

## 発話の非流暢性と権利から見た 話し言葉の文法

神戸大学教授  
定延利之先生

### 講演内容

我々の話し言葉は書き言葉とは違って、話し手のスキルやコミュニケーションを抜きには考えられない面が多々あります。文法研究者がそれらを視野に入れることは、文法外部の認知的・語用論的な諸現象に目を奪われて文法研究への集中力を欠いてしまうことでは必ずしもなく、逆にそれが文法研究を促進させることも少なくありません。現代日本語の話し言葉に見られる「文節単位でコマギレにしゃべる非流ちょう性」「夕の発話で知識を更新してみせる権利」という2つの現象例を通して、このことを具体的にお話ししたいと思います。

- 日時： 2017年3月3日(金) 午後3時30分～5時00分
- 場所： 名古屋大学東山キャンパス 文系総合館7階カンファレンスホール  
<http://www.nagoya-u.ac.jp/access-map/>
- 交通案内： 地下鉄名城線「名古屋大学駅」①番出口徒歩5分

**入場無料・事前申し込み不要**

お問い合わせ：志波彩子 <a-shiba@nagoya-u.jp>